

あの山越えて

150722

中三の音楽の授業中のことでしたが、
子守唄を教わっていた。

と言っても教科書の楽譜を見ながら

皆で合唱するだけなのだが

理論はともかく

一度唄えば覚えてしまう時期だったから

先生はそれでも良いと考えたのか

学習指導要領に書いてあったか知りませんが
先生はまだ存命と聞きますから
いざとなったら確認してもいいですが
果たして本当のことを語るかどうかはわかりません
シューベルトの子守唄やら何曲か歌った後は
中国地方の子守唄
女子の整った合唱を聞いているとわれら男子はただ声を
音符に乗せて合わせているだけで、味も素っ気もありません
こいつらは、もう母親になる声の準備が完全に出来上がっている
油断も空きもありませんがとても頭が上がりません
傍に若い母親軍団が幼い男子供をあやしている
そんな悔しい実感を覚えたのですが
その実、こいつらは普段は喧しく、黄色い声を張り上げ

ちやっかりやりたい放題の気ままな奴らでありまして
世の中一体どうなんっているんだろう
中国地方の山を越す坂道で滑って転んで、リュックの底に入れてあった
偏向ゴーグルを割ってしまったのはそれからずいぶん時が経っていて
周囲には、女子中学生はおろか、人っ子一人いないならかな山道であり
山道降りて鉄道の駅に辿り着き、険しい峠は列車に乗って超えたのは今まで
誰にも語ったことは有りません。

初出「即興ゴルコンダ(仮)」

<http://golconda.bbs.fc2.com/>

